

「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	飛騨市	学校名	飛騨市立河合小学校			
校長名	向川原眞郷	対象学年	全校	人数	51名	
活動名	ふるさと活動		時間数	20時間	継続年数	4年
題材	1 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） [] 2 歴史（出来事・史跡・先人・その他） [] ③ 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） [歌舞伎・盆踊り・匠太鼓] ④ 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） [] ⑤ 絆を深め、よりよりふるさとをつくる活動 [施設訪問] 6 その他（ ） []					
複数年継続するための工夫改善	歌舞伎保存会、伝統芸能保存会、匠太鼓同好会等の活動を組織的に支援している河合町振興協議会との連携により、継続的な指導者の確保を行っている。また、保護者地域住民の声を反映させながら、内容の工夫改善に繋がっている。また、訪問公演での意見感想を子どもたちに伝えることで、意欲化を図り、自分たちも地域に貢献しているという有用感や充実感を味わわせている。					
<p>1 ねらい 「自分に自信を持ち、ふるさとを誇りに思う子」の育成を図るため、地域資源（物・人）を大いに活用し、郷土愛を育み自分の良さを見いださせていきたい。 そのために、地域の方から学ぶだけでなく、地域の行事へも積極的に参加し役割を果たしていく。</p> <p>2 活動の概要 各学年が取り組んだ劇や太鼓の演技を本校学習発表会で発表するとともに、地元高齢者施設へ訪問し公演を行っている。 6年生は「文化芸術による子供の育成事業」（文化庁）による専門家の指導を取り入れ、地元歌舞伎保存会の協力も得ながら、「白波五人男」に取り組んだ。4年生は、地域の指導者に太鼓の指導をして戴き発表した。 また、伝統芸能保存会の指導により、盆踊りの継承を行っている。学習発表会では、子どもたちの器楽演奏をバックに踊りを披露した。今年は、地域の指導者も交えながら飛騨市内小規模三小学校が本校に集まり「ふるさとサミット」が実施され、その場でも披露した。</p> <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子 歌舞伎保存会や伝統芸能保存会の方に、歌舞伎や盆踊りの指導を戴き、学習発表会で保護者や地域の方に披露することができた。 運動会や学習発表会では、参観者と一緒に盆踊りを踊り、子どもが親に踊りの手本を示しながら一緒に踊ることができた。また、地域の文化祭や盆踊りへ参加した。 訪問公演では、子どもたちの発表に「感動をもらった」「元気をもらった」「子どもの姿に涙が出た」という声がたくさん聞かれた。施設では恒例行事となっていて毎年楽しみにしているという高齢者の声も多い。</p> <p>4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等） 地域の方の思いを聴くことで、地域の方に支えられているという感謝の気持ちをもったり、郷土のために少しでも貢献できたという有用感をもったりする児童が増えた。「ふるさとサミット」により、各校の取り組みを知ると同時に、お互いの交流を深めることができた。</p>						